

1. 件名：泊発電所3号炉の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する面談

2. 日時：令和5年9月13日(水) 18時30分～18時45分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口上席安全審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、松末技術参与

北海道電力株式会社：松村執行役員 他8名

(このうち1名はテレビ会議システムによる出席)

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	規制庁谷です。
0:00:05	藤。
0:00:07	面談を始めたいと思います。今日の面談の案件としては、泊発電所の火山影響評価、これの検討状況ということで、
0:00:16	面談を
0:00:18	いたします。主には検討状況を確認するっていうようなことですがけれども、
0:00:24	まず
0:00:26	先日ヒアリングをやって、その時には、ちょっと検討、
0:00:32	検討を、どれぐらいにめどが立つとかかそういうのもまだ
0:00:38	その場でお答えなかったと思うんですね。さらには昨日、部長との面談も、
0:00:48	津波の面談とかともやっている。
0:00:51	というようなことですね、それぞれでも何か
0:00:56	そういった面談を踏まえてですね、北海道電力として、どういった間形で検討状況、
0:01:03	今後、
0:01:04	検討していこうとしてるのかっていうのをまず確認させてくださいお願いします。
0:01:11	はい。北海道電力泉でございます。まず面談等々、土佐さん、先週の
0:01:19	金曜日のヒアリングから始まってますけれどもそういったところでの、
0:01:23	我々の受けとめとしては、まず
0:01:27	これ資料全般に関わるものかもしれませんけれども、
0:01:32	資料は基準適合の何を示すために何の目的のためにどのような方法で検討して、
0:01:40	いるのかっていうのが、
0:01:41	なかなか見えづらいような記載になっているといったようなことが、共通的なところとしてあるのかなというふうに考えて、
0:01:52	おります。
0:01:54	それから、全体としてですね、例えばなんですかけれども、具体的に言うと、
0:02:02	結論があってそのあとにエビデンスをこうずらずらずらってこう並べてるわけなんですかけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:09	なぜこの結論、その結論を導くために、なぜこのメニューでよろしいのか。
0:02:15	何を考えてこういうメニューを選択しているのか、そういったところ、そういったところのつながりですとか、
0:02:23	そういったところか。
0:02:25	足りないので、
0:02:27	結論があってエビデンスがいろいろ並べてるっていう、どうもそういう作りになってしまっていると。
0:02:34	そういうところに原因があるのかなと。
0:02:36	いうふうにまず受けとめて、
0:02:39	おります。
0:02:41	それから、これは先週のヒアリングのところでも言われたんですけども、コメントされている。
0:02:50	回答を示すと。
0:02:51	いうところが、審査会合に向けた目的の大きなところだと。
0:02:56	いうところなんですけれども、今、まとめ資料のような形式で作り込んでいってるというところもあって、なかなかコメントかい。
0:03:07	どうかどれなんだかっていうのが、なかなか辿りづらい状況になってしまっていると。
0:03:12	いうところなのでそこも工夫が必要だろうと。
0:03:16	いうふうに考えております。
0:03:20	で、大きなところとしてはそういった検討目的、なぜこの検討手法を選んだ、何をイメージでこういう検討書、何だろう。
0:03:30	それぞれの結論は何か。
0:03:33	例えば、ある小さなカテゴリーでの結論は何か、総合的にどう考えて、最終的に当社は、こういう結論を導く、そういった繋ぎの丁寧さが欠けているというところが全般的なコメントだというふうに受けとめておりますので、
0:03:48	我々のヒアリングを先週の金曜日受けたばかりでし作業が大幅にはかどってるかっていうと、
0:03:55	ちょっとお恥ずかしながらそういう状況ではないんですけれども、
0:03:58	今後どういうことを考えて、どういうところにこだわって、資料を作成していくかといったところを端的にちょっと申し上げたいなというふうに考えております。
0:04:08	よろしいでしょうか、続けて。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:11	火山資料今、本編資料 1 冊と補足説明資料 2 冊、かなり分厚いような資料になって、
0:04:19	おります。
0:04:20	これについては資料の構成だとかそういったことを見直していきたいなというふうに思っているんですけども、
0:04:30	例えば大きなところでいきますと、資料まとめ資料の形式というのを維持しつつも、コメント回答についてはそれはコメント回答で概要がちゃんとわかるようなページを設けて、
0:04:43	お示ししたいなというふうに思ってます。
0:04:47	それでこのいただいたコメントに関してはこういう回答なんだといったところが、速やかにわかるような構成になるように、
0:04:55	工夫をしていきたいなと。
0:04:57	いうふうに考えております。
0:05:00	それから全体像例えば検討概要という都会検討概要というページを、何か 30 ページぐらいおつけしたんですけどもそれを、
0:05:10	前回、谷さんからですね、各章の結論だけを張り合わせてるようなものであると。
0:05:17	言ったようなご意見もありましたんでそこは
0:05:21	全体の流れ、フローを示してる全体の流れとの流れがわかるように、ただ単に結論とエビデンスをこう候補に並べるようなものではなくてですね。
0:05:32	そういったものを、面これは面談のご指導等も踏まえながら、冒頭につけるとかですねそういったことは工夫していきたいなと。
0:05:42	言っ。
0:05:43	ていうふうに考えております。
0:05:46	あとはですね、そういったよくわかるつなぎを入れるということはそうですし、全体がわかる資料を入れると。
0:05:55	コメント回答は直接的に何を回答してるのかっていうところを入れるというところは重要なことだと思っております。
0:06:02	それから資料のスリム化、これについては、大きな方向でいきますと、
0:06:08	例えば今ガイドの主ガイドに従って立地評価を進めているわけでございますけれども、
0:06:14	完全な主軸とちょっと離れるサブルーチン的なものについては、
0:06:21	ある資料から省く、或いは、補足説明資料に送ると。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:28	言ったようなことを考えております。それから、これヒアリングで言われましたけれども、
0:06:35	過去に何回も説明しているもの。
0:06:38	結果が変わってないものについて前と同じように、
0:06:42	数百ページをかけて示すといったところはなかなか効率的じゃないと。
0:06:48	いったところも我々感じておりますので、そういった観点でも、論理展開の主軸ではないと。
0:06:54	思うものは、思い切って落とすとかですねそういったような、
0:06:57	構成にしていきたいと思います。例えばですけども、先週のヒアリングで指摘がありました網羅的な文献調査で、20 ページぐらい入ってますから、何ページもされてますけれども、
0:07:10	そこを落とすとかですね、或いはその、
0:07:14	結論を示すためのエビデンス文献レビューっていうのは重要なことではありますけれども文献レビューだけで、30 ページになっちゃってて、
0:07:24	なかなか資料として見づらいといったものは、
0:07:29	補足説明に送るとか、そういったようなことを工夫したいなというふうに思っております。
0:07:37	ちょっと個別で言うといろいろ考えてることもあって今作業をしてるところもあるんですけども、大きくいきますとそういうことになります。
0:07:46	補足説明資料はですね今、2 分冊になってましたけれどもここは思い切って 1 分冊にした上で、
0:07:54	先ほど申し上げました
0:07:56	論理展開の主軸に相当するものについて、
0:08:01	載せるといったような構成で見直していきたいなというふうに思って論理構成の習熟或いは
0:08:08	新たなデータ等を追加して、記載を追加したもの。
0:08:12	そういったものを中心に、お示しするとともにそれぞれの資料の、お互いでここを紐付けがしやすくなるような工夫をしていきたいなど。
0:08:22	いうふうに考えて、
0:08:24	おります。
0:08:26	ちょっと細かいところはもう少しあるんですけど大きなところとしてはそういったスリム化、
0:08:32	資料のわかりやすさへ変え直接的に回答をする。
0:08:37	できる資料とかですね、あとは
0:08:41	何の目的でというところは、かなり

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:44	昨日の
0:08:47	面談でもご指導いただいているところでもありますので、そこはしっかり
0:08:52	意識しながら、
0:08:54	やっていきたいというふうに思っております。
0:08:56	まず私からの説明は以上でございます。
0:09:04	井谷です。
0:09:06	今の泉さんの説明でですね確かに前回
0:09:11	ヒアリングで言っているような大きな枠組みの趣旨の趣旨といえますか、そこは伝わっているのかなというふうに思いますし、
0:09:22	やっぱりですね、わかりやすくするためにはそういった
0:09:28	基準との関係だとか、結論と
0:09:32	メニューとの繋ぎを加えるとかそういったことは大事かと思えます。
0:09:37	で、こういった追加する資料もありながら、一方でシンプルに説明する。
0:09:44	方が良いこと、スリム化した方がいようなところ、
0:09:48	ていうのは取捨選択をしてやっていただくってことで、
0:09:52	とにかく目的はですね、説明すべき内容だとか、主張ですね、そこが何なのかっていうのがですね、説明すべき内容何なのかというのを1回ちゃんと整理した上でですね。
0:10:05	必要な説明を資料にさせていただく
0:10:08	ということで、お願いしたいと思えます。
0:10:12	これをやるってというのが
0:10:15	何ていうんすかね時間との戦いとかいうところもありますし、こういったことをどこまでやるかっていうのは、一度よく考えてもらったらと思えます。
0:10:25	で、これを短時間でやるとなると、当然注意しなければいけないのが間違いが起きたりとかですね、参照ミスよりも必要なものがもう
0:10:35	ついていないような状態になったりとか、そういうところは、社内ですね、
0:10:40	しっかりとチェックしながらで、
0:10:42	整理していただけたらと思えますんで、あれですね今のところはさすがに先週の金曜日ヒアリングやったばかりで、こうやってやっていこうという考えまでは整理しているけれども、
0:10:52	資料がいつできるとかそういうことは、まだ答えられないということで、
0:10:58	いいですかね。
0:11:00	答えられないんだったら、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:21	はい、北海道電力泉です。ちょっと今谷社もおっしゃられたようにですね金曜日に、いろいろコメントをいただいて、今大きな整理をして、まさに今作業中ということ、
0:11:32	もありますので、もう少し見えてきたらですね具体的にいつごろというお話をさせていただければなというふうに思っております。
0:11:40	以上です。
0:11:41	はいお願いしますじゃ見えてきた時点でですね連絡いただくのと、
0:11:46	同時に、あとあれですね骨子になるような部分は
0:11:52	別で資料作っていただいて説明しに来るとかですね、こういった検討状況の説明は、
0:12:00	都度都度やっていただいてもいいかと思っておりますので、そういった工場を活用してですね北海道電力の方でも、どうすればうまく、うまくというか効率的に進めるかっていうのを考えてもらって、
0:12:12	言っていただけたらと思っておりますのでよろしくお願いします。
0:12:16	北海道電力和泉です。こちらこそといいますかそういったことも考えながらですね、な、なるべく手戻りのないような、効率的な検討、或いは資料作成、
0:12:28	努めて参りたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。
0:12:34	規制庁の名倉です。
0:12:39	大体、
0:12:42	聞いている話とほぼ一致して、
0:12:44	で、
0:12:46	今後ですね。
0:12:48	多分、
0:12:50	少し分けていると、確認をしていって外していないということの確認として今後必要かなと思ったのは、
0:12:58	資料構成目次構成。
0:13:01	それから全体の概要。
0:13:03	あとコメント回答の、
0:13:05	コメントの趣旨プラス回答の趣旨、
0:13:09	こちら辺の3要素ぐらいについては、
0:13:13	状況をですね、必要に応じて、
0:13:18	整理していただいて確認をしていく
0:13:21	ということでお願いしたいなと思っております。
0:13:25	これがいつできるかどうかということについては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:28	そこは重いちょっと検討いただくとして、
0:13:33	イメージとして、
0:13:35	外していない。
0:13:36	これだったら大丈夫かな。
0:13:38	というところの確認は適宜、さしていただきたいなと思い
0:13:46	以上です。よろしくお願いしま
0:13:49	はい。北海道電力泉です。承知いたしました。
0:14:02	谷です。特になければ、検討を進めていただくということで、面談は終わりにしたいと思います。どうもお疲れ様でした。
0:14:12	明日、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。